

第4回 島田市社会教育委員会 議題「家庭教育支援の在り方について」

資料1

子育て学習推進事業からの課題について

事業名	課題	平成27年度 講座参加者の在住地区 (人)				
		旧島田	初倉地区	六合地区	金谷地区	川根地区
初めて0歳児をもつ親の講座～ 親子の絆プログラム～ (ベビープログラム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初産の親に全員に参加してもらえるような仕組みの構築。 (現在120名が受講。定員オーバーになることはないため、回数的にはちょうど良い)</li> <li>・車など交通手段がないため、参加できない人がいるので、工夫が必要。</li> </ul>	86/184	30/184	42/184	26/184	0/184
幼児・児童をもつ親の講座 (コモンセンス ペアレンティング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者は、困り感をもって参加しているが、本当に学んでほしい親が参加できるようにするにはどうしたらよいか。</li> <li>・次年度より幼稚園の保護者を対象とした講座に位置づけを予定、3歳～5歳児の親がより参加しやすい工夫を行なっていく。</li> </ul>	32/63	5/63	12/63	11/63	3/63
親子ふれあい講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父親の参加が多いのは良いが、場がないと遊べない親や遊び方を知らない親が多い</li> <li>・体験を通して学ぶ講座は参加しやすいが、当日の体験の楽しさで終わってしまいがち。活動を価値付けることが必要ではないか。</li> </ul>	147/303	33/303	56/303	55/303	12/303
小中学生をもつ親の講座 ～プチ心理学講座～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題が起きないようにするためのしつけやかかわりなど伝えている。参加する親はアンテナが高く、子どもと向き合おうとしている。参加しない、興味のない困り感をもっていない親への対応を考えたい。</li> </ul>	16/30	1/30	8/30	5/30	0/30
思春期の子をもつ親の講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長に合わせ、子どもの意志が強くなる。そのため、親自身の考えを変えなくてはいけない時期。親が学ぶ事で、子どもが変わる。</li> </ul>	28/66	7/66	9/66	12/66	1/66

(市外 7/66)

<考察>

参加しない、興味のない親に対しての支援。親の学びの必要性をどう感じ取らせるのか。参加しないと、次につなげていけない。

ペアサポの活用や地域や家庭、学校等との連携で学びの場（講座等）だけでない支援体制をつくる必要があるのではないか。